

2017年4月号

横須賀小川町教会新聞No.137
2017年4月1日発行

小川町の鐘

発行者 日本キリスト教団
横須賀小川町教会
牧師 寺田信一
住所 横須賀市小川町7
電話 046-822-2463
http://ogawachurch.sakura.ne.jp

第31回

細川ガラシャ

細川ガラシャという女性をご存知でしょう。1563年、明智光秀の三女として生まれたガラシャは、「玉」（または珠）と名付けられました。16歳の時、父光秀が（まだ）仕えていた織田信長の勧めにより細川忠興と結婚し、幸いにも夫婦円満の日々を送ることになります。ところが1582年、光秀が突然信長に反旗を翻し、信長宿泊中の本能寺を襲撃。この結果、光秀は信長を自害に追い込みますが（本能寺の変）、その後、羽柴秀吉（後の豊臣秀吉）との山崎の合戦で敗れて戦死します。僅か11日の天下でしかなくこれを機に明智家は衰退の一途を辿って行きました。

ガラシャは、主君を本能寺で自害に追い込んだ光秀の娘であったことから、丹後（現在の京都府北部）の山奥に幽閉されます。その2年後、秀吉に赦され、細川家に帰って来ますが、夫忠興に監禁同然の生活を強いられ、外部との接触を禁止されてしまいました。それでも、茶道を嗜むことは許されていて、これが功を奏します。忠興が千利休の7人の弟子に選ばれ（七哲/しちてつ）、他にあのキリシタン大名高山右近も七哲に選ばれたのです。そして利休の茶室を通して、ガラシャは右近の信仰に触れ、自らも信仰を持つようになっていったのでした。その上、ガラシャの侍女頭の一人に「マリア」という洗礼名を持つキリシタンがいて、これもガラシャが信仰を持つために大きく影響したと言われます。現代とは違い、信教の自由など無い時代に、神道や仏教以外の信仰を持つことには、たいへん大きな決断が要りましたが、ある意味で、ガラシャは大胆であり、そして導かれていたのです。

1587年、忠興が秀吉の九州征伐に伴って出陣し、留守にしていた時のこと。軟禁生活が続く中、ガラシャは意を決し、密かに裏門から出て教会を訪ねます。その日はちょうどイースター（＝キリスト復活祭）が祝われている最中だったようで、これに感激したガラシャは名を伏せたまま「自分は二度と教会に来られないから、今日洗礼を受けてほしい」と願い出ます。しかし、教会がガラシャに洗礼を授けることはありませんでした。氏素性の分からぬ者に洗礼を授けることなどできないからです。

ガラシャが教会に行けたのは、生涯に亘ってその一回限りでしたが、ガラシャは侍女達に理由を作っては外出させ、教会に行かせました。そして、帰って来た侍女達が教会で聞いて来た話を、今度は屋敷でガラシャが聞く、という仕

方で信仰を培って行きます。するとその結果、なんとガラシャの侍女達16名が洗礼を受けてキリスト者になってしまいました。唯一未受洗であったガラシャもこれを喜び、侍女達と共に細川屋敷で祈りをささげていたそうです。



ガラシャが教会に初めて行った1587年と言えば、秀吉がバテレン追放令を出した年でもあります。ガラシャは侍女を通じて「宣教師が帰国する前に何としても洗礼を授けてほしい」と願いましたが、もはや宣教師

が外出などできるご時世ではなくなっていました。そこで宣教師は、ガラシャの侍女の一人に洗礼の仕方を教え、その侍女からガラシャに洗礼を授ける、という方法を実行します（カトリックでは有効な手段）。その時につけられた洗礼名が「ガラシャ」なのです。その意味はスペイン語の“gracia” 或いはラテン語の“gratia” で、英語で言えば“grace”、日本語に訳せば「恵み」です。まさに、玉はようやく洗礼の恵みを賜わって、正真正銘のキリスト者になれたのでした。

このガラシャの死は1600年、石田光成の兵によって訪れることとなります（諸説有り）。死後、葬儀はミサの形で執り行われ、忠興は式の最中もひたすら泣き通し、また関ヶ原の戦いの後に教会を建立したと伝えられています。しかし、死に至るまで信仰を生き抜いたガラシャの生涯は、後に多くの人々を感動させ、例えばイエズス会によって1698年、歌劇『Mulier Fortis（気丈な夫人）』に仕立てられ、貴婦人の鑑としてヨーロッパの人々に紹介されるまでになりました。日本でも吉川英治氏や三浦綾子氏の『細川ガラシャ夫人』（同名小説）などにより良く知られるようになり、最近では高山右近の列福も手伝ってか、ますます注目されるようになりました。いつの日か、大河ドラマ『がらしあ』が製作される日も訪れるかも知れません。その日を待ち焦がれているのは筆者だけではなくありますまい？

牧師 寺田 信一



その他の集會

- 説教ガイドAコース 毎日曜日礼拝後
- 説教ガイドBコース 毎日曜日礼拝後
- ※AII既に洗礼を受けた方
- BIIまだ洗礼を受けていない方
- 祈禱会I 毎週水曜日午前10時半
- 祈禱会II 毎週水曜日午後7時
- 青年の集い 毎月第三日曜日礼拝後
- 壮年の集い 毎月第三日曜日礼拝後
- 婦人の集い 毎月第三日曜日礼拝後
- 三四十代の集い 毎月第三日曜日礼拝後
- ※参加希望者は事前に確認ください。

ごあんない

主日礼拝
毎週日曜日午前10時30分

教会学校礼拝
毎週日曜日午前9時、特に子どもに配慮された礼拝があります。礼拝後、年齢に応じて分けられた分級が行われます。

洗足木曜礼拝 四月三日(木)午後七時

受難日祈禱会 四月四日(金)午前10時半

イースター記念礼拝 四月一日(日)午前10時半



教会にはエレベーターが設置されています。また、多機能トイレも整備されています。視覚障害の方には、点字聖書が用意されています。

創立六五周年記念行事

パイプオルガンコンサート

六月十八日(日)午後三時

出演 シャン・リュック・メルカールト

一九八〇年ベルギー生まれ。新進気鋭のオルガニスト。片倉キリストの教会 礼拝奏楽者。

入場 無料